

年賀状のエピソードを集めた「年賀状思い出大賞」が第11回の受賞作品を発表

親子や友人との間でやりとりされた心温まる年賀状エピソードが多数受賞

株式会社グリーティングワークス（所在地:大阪市西区、代表取締役:徳丸 博之）は、挨拶状ドットコム（<https://nenga.aisatsujo.jp/>）にて、第11回「年賀状思い出大賞」で受賞した全12作品を発表しました。親子、友人、夫婦、教師と生徒など、様々な関係の中でやりとりされた年賀状エピソードが多数受賞。絆の深さを感じさせる心温まる作品となっています。

■第11回「年賀状思い出大賞」受賞作品発表ページ URL: <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>

■「年賀状思い出大賞」について

挨拶状ドットコムでは、年賀状にまつわる思い出やエピソードを全国から募集し、審査、発表する「年賀状思い出大賞」を11年前より開始。日本郵便株式会社の後援のもと、年賀状の素晴らしさを感じていただく取り組みとして毎年実施しています。

■母と娘、先輩と後輩、友人との絆を描いた作品が受賞

第11回の年賀状思い出大賞は、年賀状を通して母親の強さを知る娘のエピソードが大賞に選ばれたほか、先輩の年賀状に書かれた金言で奮起する後輩の話や、疎遠になった友人と年賀状で再び繋がった話などが受賞。年賀状が人の想いを伝えるツールであることがわかります。今回の受賞作品や過去の作品は、年賀状思い出大賞の受賞作品発表ページで読むことができます。



■累計応募総数は9,509作品に。第12回の募集もスタート！

第11回の応募点数は903作品となり、第1回からの累計応募総数は9,509作品となりました。今後も年賀状の素晴らしさをより多くの方に知っていただけるよう、第12回の募集も開始。応募の締め切りは2020年4月30日までとなりますので、令和最初の年賀状にちなんだエピソードもご応募いただけます。



【第12回 年賀状思い出大賞 募集概要】

- ・募集ページ : <https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/>
- ・応募方法 : サイト内の応募フォーム / 郵送 / メール / FAX
- ・応募締切 : 2020年4月30日(木)まで
- ・発表 : 2020年10月上旬
- ・主催 : 挨拶状ドットコム
- ・後援 : 日本郵便株式会社

■第11回 年賀状思い出大賞 大賞作品

第11回の大賞には、過酷な状況でもポジティブな気持ちを忘れない母親と、それを誇らしいと感じる娘の年賀状エピソードが選ばれました。この作品はショートムービーとして映像化しており、第11回の受賞作品発表ページ (<https://nenga.aisatsujo.jp/omoide/result.html>) でご覧いただけます。

大賞
第11回
年賀状思い出大賞

**60年ぶりの
左手年賀状**



Illustration_Masami Ushikubo

「左利きは不便だからって、幼い頃、ママのママに無理やり右利きに矯正されたの」子供の頃から母にそう聞かされていた。だから、私の知っている母は、右手で美しい字を書く書家だった。

昨夏、母は脳梗塞で倒れ、右半身に麻痺が残った。右手の自由も奪われ、三十年間続けた書道教室も畳んだ。

そして、元旦。酷い悪筆の年賀状が届いた。「明けましておめでとう。六十年ぶりに左手で書く年賀状です。何だか懐かしくて、ワクワクしながら書いています。昔取った杵柄かな？ なかなかのものでしょうか？」

あんなに流麗な字を書く母だったのに……。思うように体が動かせず、もどかしくて辛い苦悩の……。過酷な試練さえ懐かしいという感情に染め変え、ポジティブに楽しめる母。そんなしなやかで強靱な母を誇らしく思った。

右手の自由を奪われても、母は六十年ぶりに左手の自由を取り戻したのだ。この一葉は、母の再生の証。

【プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社グリーティングワークス 担当者: 豊(ゆたか)・小松(こまつ)

大阪市西区鞠本町 1-5-6 本町辰巳ビル 7F

TEL: 06-6450-8029 / FAX: 06-6450-8129 / E-mail: press@greetingworks.com